

オーバーナイト透析

(夜間の睡眠時間を利用して8時間血液透析をすること)



医療法人 幸善会
天神オーバーナイト透析クリニック

夜間睡眠中透析

こんな経験や不安はありませんか？

透析を受けるようになって

『十分に仕事ができない』、『職場が移動になった』
『早退するので会社に引け目を感じている』など、困って
いませんか。また、
『近々透析と言われているが、仕事と両立できるのか不安』
など、不安に感じることはありませんか。

これらを解消する方法があります

深夜・寝ている間に血液透析を受けられるとしたら、
どうですか？

⇒**オーバーナイト透析**なら、早退せずに、時間まで仕事を済ませ、
食事を終えた後に病院で透析を受けることが可能です。

不安・悩みを抱えている方、興味をお持ちの方は、まずはご相談ください。

オーバーナイト透析を希望される方へ

A. オーバーナイト（深夜）透析の利点

1. 仕事との両立

オーバーナイト透析とは、深夜の睡眠時間を利用して、最低8時間透析を行う事です。これまでの血液透析は、夜間透析といえども、23:00までに終了することとなるため、16:30までには病医院に入室して透析を始める必要があります、会社を早退しないと間に合わない状況でした。

しかし、夜間睡眠中の透析であれば、通常の就業時間まで勤務し、帰宅後食事、入浴などを済ませてから来院することが出来ます。

2. 長時間透析

長時間透析とは、週18時間以上の血液透析を行う場合の呼称です。

長時間透析は、安定した透析ができ、透析後の疲労も少なく、透析合併症の軽減、とくに透析患者の死因の第1位である心疾患を予防する治療法として有効です。

前田病院では、1989年の開設当初より週3回、1回6時間（週18時間）の長時間透析を実施してきました。

しかし、健康な腎臓は1日24時間、一週間で168時間、毎日働き続けています。週18時間の透析を行っても、健康な腎臓の約10分の1にしかなりません。

オーバーナイト透析は、1回8時間（週24時間）以上の十分な透析量の確保が可能となり、QOLや生命予後のさらなる改善につながると考えられます。

3. 治療中の苦痛軽減

日中に行う透析は、他の患者さんの話し声、血圧測定やスタッフによる処置の音などが頻繁に聞こえてうるさく、リラックスして受けられないという方もあります。

その点、オーバーナイト透析は時間をかけた治療であり、トラブルの少ない安定した治療が期待されます。睡眠を妨げないように、血圧測定は開始前後と終了時前後の4回程度にしています。

睡眠中に治療が完了するので、仕事・家事・趣味のため時間にゆとりが生まれます。

オーバーナイト透析をされている方に尋ねると、透析の体感時間は1時間前後と言われます。

B. オーバーナイト透析への移行条件

- ①日中にフルタイムで仕事をしていること（退職後は昼間帯の透析への移行を諒承下さい）
- ②透析導入後、1か月以上が経過していること
- ③一般状態ならびに透析中の状態や経過が安定していること
- ④日常生活動作が自立できており、介助を必要としないこと
- ⑤穿刺が困難でないこと（人工血管については、止血操作を自己で行えること）
- ⑥心エコー・心電図検査において異常がないこと
- ⑦睡眠時無呼吸検査で、とくに異常がないこと

検査結果が出るまでの2週間程度は、昼間帯の透析により状態を観察させて戴きます。

無呼吸状態への治療が必要と判定された場合、CPAP治療を実施継続すること。

- ⑧重篤な合併症や既往歴がないこと

- ⑨体重管理を含めた自己管理ができること
- ⑩毎朝起床時の血圧測定を実施すること
- ⑪「オーバーナイト透析を受ける皆さまへ」に掲げた項目を遵守して戴くこと

【注意事項】

- ① 血圧測定は基本3回です。（開始前後・終了時，臥位・座位）
- ② 空調温度は個々人の希望には添えませんのでご了承下さい。
- ③ 透析装置洗浄のため，夜中に他の透析装置が稼働するためモーター音などの音が出ます。
- ④ 透析開始時間22：00～23：00（最終入室時間は22：30）
終了時間6：00～7：00です。
- ⑤ 入室時間が22：30を過ぎる場合は，必ず当院へ連絡してください。
- ⑥ 透析における治療条件（除水量等）には従ってください。
- ⑦ 他人の睡眠を阻害するような行為（携帯電話の使用・電子機器の音量）は禁止です。
- ⑧ いびきに対する苦情には対応が困難です（各自で耳栓などの対策をお願いします）。
- ⑨ 体調不良がある時は，直ちに病院に連絡し指示を仰いでください。
- ⑩ 病態上，深夜透析が困難と判断された場合，昼間帯の透析へ移行して戴きます。

【夜間睡眠中透析中止基準】

次の事由が生じた際は，夜間睡眠中透析から昼間帯の透析へ移行して戴きます。

- ①オーバーナイト透析の条件から外れたり，約束が守られないとき
- ②合併症などで安全な透析が困難となったとき
- ③自己管理が不十分であると判断されたとき
- ④月1～2回の外来受診が守れないとき
- ⑤穿刺が困難になったとき
- ⑥他人への迷惑行為が続くとき
- ⑦その他，深夜透析中止が必要と判断されたとき

C. 安全確保について

* 深夜透析では，透析中の状態が安定していることが前提です。

昼間帯の透析のように，頻回に血圧測定を行うことはありません。

* 寝返りにも対応できるように，血液回路は深夜透析専用長くしています。

* 安全確保のため，頭元のライトおよびモニターカメラを付けさせて戴きます。

* 体調不良（発熱・下痢・嘔吐・腹痛など）がある時は，夜間睡眠中透析は危険なことがあります。

具合が悪いときは，必ず電話連絡をして対応についてご相談ください。

来院後に申し出されても，夜間では対応が困難な場合があることをご承知おき下さい。

D. 快適な透析をうけるために

夜間睡眠中透析では，寝ている間に透析が出来ることが最大のメリットです。

十分な睡眠時間を確保できるように，周りの方への配慮ある行動に心がけて下さい。

照明：全員の穿刺終了後，23時すぎにフロアの照明を消灯します。

機械の明かりなど気になる方はアイマスクなどを使用してください。

騒音：安全管理上，警報やナースコールは日中と同じ設定で使用します。

機械の警報音や足音，他人のいびきなど，どうしても防ぎきれないものもあります。
気になる方は耳栓を使用してください。

DVDや音楽視聴をされる時は必ずイヤホンを使用して音量の調節をお願いします。

携帯電話はマナーモードにし，通話はお控えください。

空調：スタッフがフロア全体の空調を適温に設定しますが，個々のご希望には添えませんのでタオルケットなどを準備して載いて調整してください。

E. オーバーナイト透析実施時のお願い

1. 入退室時ベッドのセッティングや片づけは各自で行って下さい。
2. 必要に応じ，手枕は各自でご用意ください。（ハンドタオル等）
3. 貴重品はご自分で管理をお願いします。（紛失等の責任は負いかねます）
※高額なものは院内に持ち込まないでください。
4. 退室時，忘れ物の無いようにお願いします。
5. 透析中の血圧測定は，基本透析開始前後と終了時の3回のみです。
気分が悪い時は，ナースコールにてお知らせください。
6. 安全な透析を行う上で，透析前の飲酒は避けて下さい。
7. 食事は透析前に済ませてきて下さい。

家族みんなで夕食を！

ダメ！



F. 自己管理について

透析生活で最も大切なこと、それは

『しっかり食べて、しっかり体を動かし、しっかり透析すること』
です。

もちろん体重増加を抑えるために塩分、水分の制限は必要です。

透析時間が長くなるからといって、無制限に除水量が増えるわけではありません。

毎回体重増加が多くて無理な除水を繰り返していると心臓に負担がかかり、そのうち元気に透析ができなくなってしまうます。

自己管理を心がけましょう。

当院のホームページを一度、是非ご覧下さい。

そして、オーバーナイト透析へ移行された患者さんの生の声を聴いてみて下さい！

天神オーバーナイト透析クリニック

TEL 092-753-8373

福岡市南区那の川1丁目13番27号

HP : <http://www.kouzen-tenjin.or.jp>